



医療教育開発センター ニュースレター

NEWS LETTER

Contents

- 1 巻頭言
- 2 副センター長の紹介

1 巻頭言



医療教育開発センター長 赤池 雅史

医療教育開発センターは、医療系全領域にわたる教育・研究・診療組織がひとつのキャンパスに集約している徳島大学の強みを基盤として、医療系学部・大学院の各組織を繋いだ教育連携支援を行い、高度専門医療人や優れた生命科学研究者の育成を目指しています。大学院教育では、共通科目e-learning、英語プログラム、Tokushima Bioscience Retreat、教育クラスターの支援を行います。学部教育では、チーム医療入門、学部連携PBLチュートリアル、チーム医療臨床実習の3ステップで構

成される専門職連携教育プログラムの充実に取り組みます。また、スキルスラボの管理・運営を通して、メディカルトレーニング・ラボならびに臨床カルアトミー・ラボと連携した卒前卒業一貫の低侵襲手術手技トレーニングプログラム、理工学部学生等を対象とした医光融合人材育成、医療系学部のフィジカルアセスメント教育、模擬患者参加による医療コミュニケーション教育の充実をはかりたいと思います。新型コロナウイルス感染症の拡大により、オンライン教育やシミュレーション教育に注目が集まっており、対面や診療現場での教育との効果的な連携を目指したいと考えています。皆様のご指導ならびにご支援をよろしくお願い致します。

成される専門職連携教育プログラムの充実に取り組みます。また、スキルスラボの管理・運営を通して、メディカルトレーニング・ラボならびに臨床カルアトミー・ラボと連携した卒前卒業一貫の低侵襲手術手技トレーニングプログラム、理工学部学生等を対象とした医光融合人材育成、医療系学部のフィジカルアセスメント教育、模擬患者参加による医療コミュニケーション教育の充実をはかりたいと思います。新型コロナウイルス感染症の拡大により、オンライン教育やシミュレーション教育に注目が集まっており、対面や診療現場での教育との効果的な連携を目指したいと考えています。皆様のご指導ならびにご支援をよろしくお願い致します。

2 副センター長の紹介



大学院医歯薬学研究所 医学域医科学部門 医療教育学分野 准教授
吾妻 雅彦

新型コロナウイルス感染が猛威を振るい、その終息がまだ見えぬ中、徳島大学ではオンラインを利用した職種連携の取り組みが始められています。その取り組みが一層発展するよう副センター長としてその支援に尽力してまいります。



大学院医歯薬学研究所 薬学域薬科学部門 医薬品機能生化学分野 教授
土屋浩一郎

薬学部では今年度の入学生から薬剤師資格を基盤とする新6年制課程になりました。新しい課程では医療を理解した薬学研究者や多職種連携を理解する薬剤師の養成を掲げていることから、これまで以上に医療教育開発センターと連携し、特徴ある人材の育成に取り組んでまいります。



教養教育院 医療基盤教育分野 教授
岩田 貴

専門医の経験を生かして、初年次から高学年・研修医・生涯教育まで一貫したシームレスな医療教育に携わっております。新型コロナ禍における新しいシミュレーション教育などを研究・実践しています。



大学院医歯薬学研究所 医学域栄養科学部門 予防環境栄養学分野 教授
高橋 章

医科栄養学科は、栄養学の専門性をいかして、これからの社会に対応できる人材育成を目指しています。また、多職種連携教育やシミュレーション教育など、蔵本地区の教育連携にも尽力していきます。



大学院医歯薬学研究所 歯学域口腔科学部門 顎機能咬合再建学分野 教授
松香 芳三

歯学部は四国地方において唯一の歯科医師養成を行っており、歯科医療教育の中心的存在です。また、口腔保健学科では優れた歯科衛生士・社会福祉士を養成しております。医療教育開発センターにおいては他学部と密に連携し、多職種連携を実践可能である優れた歯科医療者・歯科医学研究者を輩出できるように尽力してまいります。



大学院医歯薬学研究所 保健学域保健科学部門 臨床腫瘍医療学分野 教授
近藤 和也

保健科学教育部は、高度専門医療人(がん専門看護師、慢性看護専門看護師、助産実践コース、養護教諭専修免許、医学物理士コース)を育成するプログラムを有し、たくさんの大学院生が入学し、多職種カンファレンスやシミュレーション教育(スキルスラボを使用)を行っています。現在、国際連携大学院共同学位プログラムを開設し、海外留学生も増え、英語プログラムの講義に参加しています。これからも医療教育開発センターの発展に尽力していきたく思います。

医療系学部における組織・領域横断的の大学教育支援

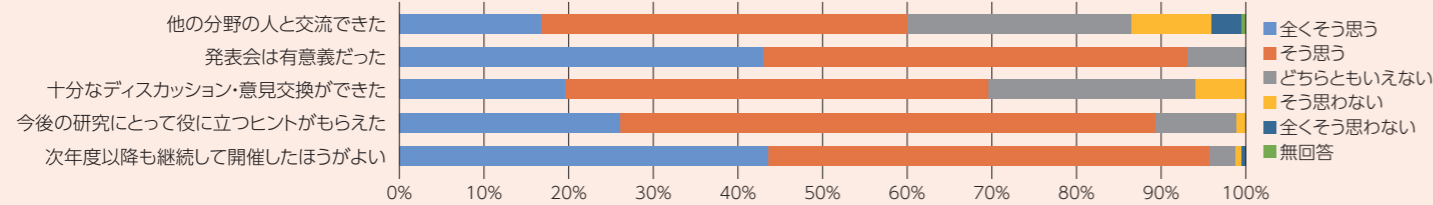
教育クラスター活動支援

- ①コアセミナー開催支援(2020年度15回開催)
(詳細:医療教育開発センターHP <http://www.hbs-edu.jp/index.html>)
- ②6クラスターそれぞれが開催するミニリトリート開催支援
2020年度はCOVID-19感染症対策としてすべてのクラスターがWebを用いて活動しています。Webを利用して開催することにより、海外在住の講師による特別講演も実現しました。



クラスター	日時	ミニリトリート参加人数(人)				
		院生	学部生	教員	講師	計
心・血管	2021.1.24	18	0	19	2	39
感染・免疫	2021.1.29	19	0	19	1	39
肥満・糖尿病	2021.2.12	20	10	35	1	66
骨・筋とCa	2021.1.15	20	1	14	1	36
脳科学	2021.2.23	13	4	14	1	32
発生・再生・遺伝	2020.12.23	24	3	10	0	37
合計		114	18	111	6	249

ミニリトリート実施後アンケート結果(回答数190、回答率76.6%)



大学院共通科目e-learning運営支援

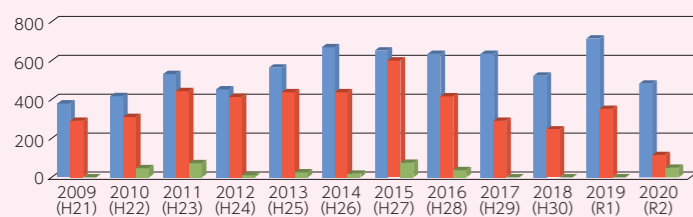
My Mediasiteを活用して9科目のコンテンツ撮影、編集、配信を支援しています。

医療コミュニケーション教育(模擬患者参加型教育)

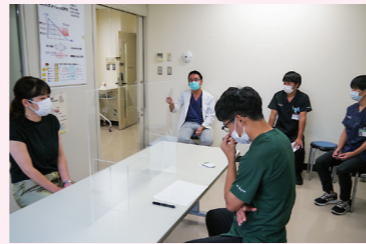
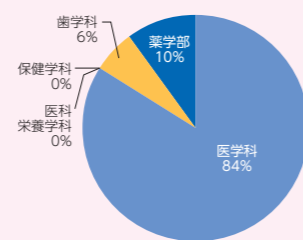
COVID-19感染症対策として65才以上の模擬患者活動を控えました。大学院生によるTAを模擬患者として養成し、65才以下の模擬患者とともに医学科、歯学部、薬学部の実習/試験で活動しました。医療面接実習には、アクリルボードの活用や、Teamsを利用したWeb面接を実施しています。

2020年度活動模擬患者:16名(一般市民40代1名、50代6名、TA9名)

年度別のべ活動時間(活動時間×活動人数)

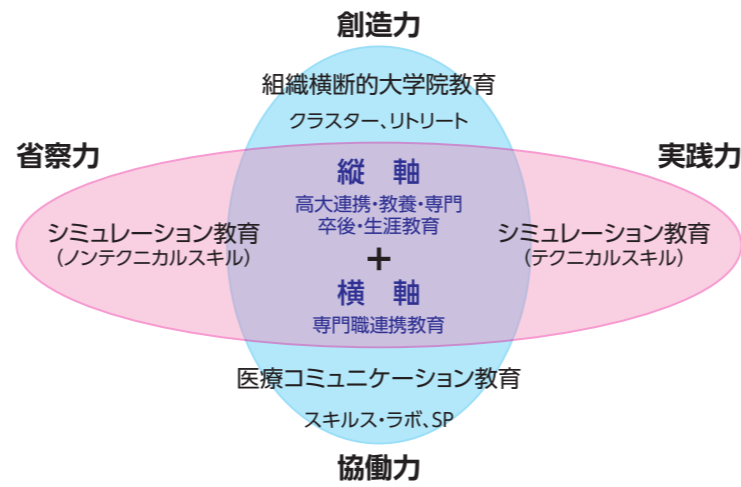


学科別のべ活動時間



医学教育に関する研究実績(医療教育開発センター関係)

- 論文
- 坪井光弘、青山万理子、滝沢宏光、吉田光輝、岩田 貴、赤池雅史、金山博臣、鶴尾吉宏、丹黒 章。内視鏡手術の教育システム 日本内分秘外科学会雑誌 37(1):22-26, 2020
 - 植野美彦、関 陽介、赤池雅史、野間口雅子。【資料】教育連動型AO入試の設計と実施—地方国立大学における研究医の養成・確保をめざして— 大学入試研究ジャーナル 30: 207-213, 2020
 - 吉田光輝、丹黒 章、東野恒作、近藤和也、岩田 貴、赤池雅史、金山博臣、鶴尾吉宏。呼吸器外科における最先端手術手技とCAL(Clinical Anatomy Laboratory) 四国医学雑誌 76(5-6), 225-234, 2020
- 学会・研究会
- 西田憲生、清水真祐子、常山幸一、赤池雅史。オンラインPBLチュートリアルの実施報告ならびにその効果と課題。大学教育カンファレンス in 徳島, 2021年1月8日



医療系学部における専門職連携教育支援

＜専門職連携教育の目標＞

- ・医療専門教育を受けているすべての学生が、より安全で、より質の高い医療を提供するためにともに学び、お互いから学びあう。



①第14回チーム医療入門～蔵本地区1年生合同WS～

2020年度はCOVID-19感染症対策としてWeb開催としました。

基調講演 大規模災害に備える

日時 2020年9月30日(水) 講師 中野晋先生(徳島大学環境防災研究センター長/教授)

対象学生数 454名(医学部、歯学部、薬学部1年生)

②第8回学部連携PBLチュートリアル

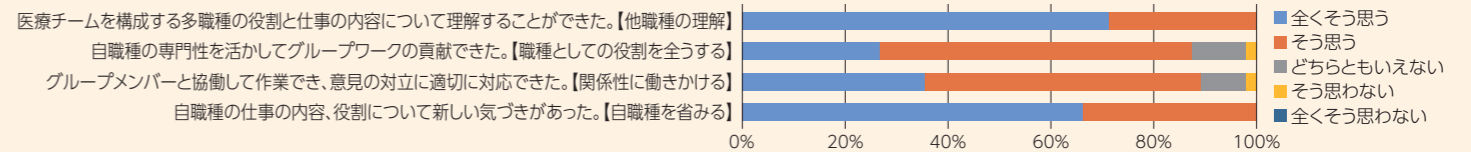
2020年度はCOVID-19感染症対策としてWeb開催としました。各学科より選出された学生によるWebを用いたグループディスカッションの様子を配信し、視聴レポート提出を課しました。医学科、医科栄養学科、歯学部、口腔保健学科、保健学科看護学専攻、保健学科放射線技術科学専攻、保健学科検査技術科学専攻は正課授業として、薬学部は有志参加として合計359名が参加しました。各学科の教員がチューターとして協力しています。

テーマ 在宅医療

場所 Web会議 日時 2020年11月6日(水) 9:00-12:00

対象学生数 359名:医学科4年126名、歯学部4年36名、口腔保健学科3年15名、医科栄養学科3年51名、保健学科看護学専攻4年68名、保健学科放射線技術科学専攻4年37名、保健学科検査技術科学専攻19名、薬学部5年7名

グループワーク参加学生の実施後アンケート結果(回答数56、回答率100%)



臨床技能学習施設(スキルズ・ラボ) Clinical Skills Laboratory(CSL)

低侵襲手術トレーニングプログラム

徳島大学では優れた外科医を養成する卒前卒後一貫教育として、各種シミュレータを備えたスキルズ・ラボ、生豚に対応したメディカルトレーニング・ラボ、未固定遺体に対応したクリニカルアナトミー・ラボを活用し、「未固定遺体とシミュレータを用いた新たな実践型内視鏡下低相性侵襲手術トレーニングプログラム」に取り組んでいます。医療教育開発センターでは岩田貴副センター長が中心となり、医学科臨床実習学生を対象に高機能シミュレータを用いた腹腔鏡手術手技実習を行っています。



中心静脈カテーテル(CVC)挿入個別講習会(シミュレーション教育)

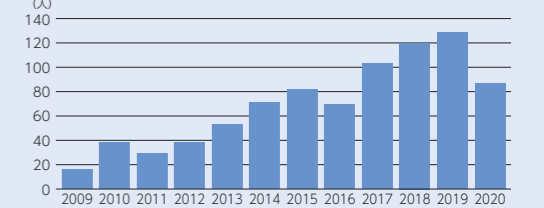


超音波ガイドを使用した中心静脈カテーテル挿入方法、およびその介助方法を修得する講習会です。毎月2回、定員2～3名で開催されており、少人数で効果的に学ぶことができます。ビデオフィードバックを用いて、自分の手技を客観的に見直すことができます。徳島大学研修医をはじめ、徳島県下の病院から多くの研修医・医師が学んでいます。

2020年度実績

受講者のべ人数:87名
受講者所属施設:
徳島大学病院、
吉野川医療センター

年度別受講者数



基本的診療技能トレーニング

2020年度の実習では、COVID-19感染症対策としてシミュレータを活用しました。



レザシアン



鼻腔・咽頭拭い液モデル



シンプルマネキンⅢ



頸部リンパ節・甲状腺触診モデル

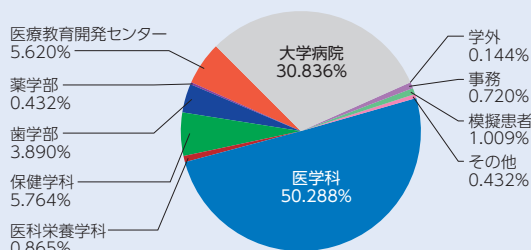


腹部診察トレーニングモデル



スキルズ・ラボは蔵本キャンパスのほぼ中央に位置し、各種の手技に対応できるシミュレーション教育機材 (Simulator) が数多く設置されています。基本的～専門的な医療技術・技能 (テクニカルスキル) とともに、状況把握やコミュニケーション、チームワークといったノンテクニカルを学ぶ場として学内医療系各学部生だけでなく、徳島大学病院や関係医療機関等で医療に携わる人々に利用されています。

2020年度 所属別利用件数の割合 (694件、のべ7,834名)

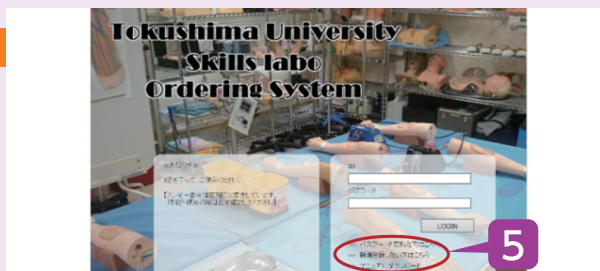


徳島大学の職員であればどなたでもID/Passを取得しスキルズ・ラボの部屋/物品を利用できます。

*学生による個人利用はできません。指導教員、職員を介して利用してください。

[ID/Passの取得方法]

- 1 徳島大学医療教育開発センターのHP <https://www.hbs-edu.jp/>
- 2 [スキルズ・ラボ]をクリック
- 3 [スキルズ・ラボの利用予約はこちら]をクリック
- 4 <お知らせ>が表示された場合、確認してOKをクリック
- 5 [新規登録したい方はこちら]をクリック
- 6 必要事項を入力し[確認画面] → [申し込む]
- 7 システムから登録完了のメール連絡が届きましたら使用可能です。時間外 (オフィスアワー平日9:00-17:00) の申し込みの場合、連絡が後日になることがあります。



[部屋/物品の利用方法]

- 1 部屋の選択 物品貸出しのみ希望の場合、部屋を利用しないを選択し、使用場所を記入してください。ページ右上の予約カレンダーから部屋の予約状況を確認できます。赤く表示されている部分はすでに予約されています。
- 2 使用日時入力 入力は1日単位で入力してください。物品のみの貸し出しは複数日でも可能です。
- 3 使用物品入力 すでに申し込みがあり利用できない場合、赤い警告が出ます。使用日時、個数等を検討して下さい。
- 4 利用詳細、予定人数を入力
- 5 申し込み

利用後、実際の利用人数を入力 利用実績の把握にご協力ください。

*利用をキャンセルしたい場合、ご自身の画面から削除できます。利用日近くになると削除ボタンが表示されませんので、電話にてご連絡ください。
*ご不明な点はスキルズ・ラボ 088-633-7533 (内線9631) までご連絡ください。